

人と人が繋がり、明るい「まち」を目指し

高蔵寺どんぐりs 理事長 堀内 泰

コロナウイルスは形を変え、この三年間多くの住民の行動を制約してきた。ここにきてやっと勢いが衰えてきたが、安心はできない。加えて、世界各地では争いが続き、なかでもロシアのウクライナ侵略の暴挙は物価等にはね返り、人々の暮らしに影響を与え、暗い影を落としている。そのような環境下ではあるが、今期も人と人の繋がりを大事にし、少しでもまちが明るくなるようなイベント等を開催していきたい。ただ、「どんぐりs」のメンバーは高齢化が進み、活動範囲を集約せざるを得ない状況が続いている。そんな中、ここ数年、暮らしに関わる環境整備に注力し、なかでも部会として活躍している「魅力ある高森山をつくる会」に重点を置いてきた。

本来、市民の憩いの場所となる自然豊かな風致公園である近くの高森山公園は、放置されたため鬱蒼となりあまり利用されていない。そのため、5年前から住民誰もがいつでも気楽に利用でき、生き物が棲みやすい里山にすべく、整備活動(除伐、下草刈り等=写真)に励んできた。その成果もあり、最近散歩している親子連れも多くみられるようになった。また、生息している動植物を調査したところ、樹木草や昆虫を中心に約500種以上の生き物が棲んでいる。散策路周辺は大分整備されたが、未だ道半ばである。今後とも、行政と手を携え、未来プラン実現に向けて取り組んでいく。

今迄、独自の会則があり独立採算の「魅力ある高森山公園をつくる会」は、総会で会計処理や事務の効率化を図るため「どんぐりs」と一体となり、活動することが議決された。並行して、現つくる会の会員は、「どんぐりs」に移



行し増員になるので、活動内容を充実させていく。また、生活相談会や「どんぐりsカフェ」は、前期迄コロナ禍でたびたび中断したが、今期は、予定通り開催できそうである。身近な悩みやこまりごとに耳を傾け、また、幅広く暮らしに役立つ講演会やセミナーを催す。また、庶民的な楽しい企画づくりも行ない、多くの住民が少しでも元気になれるようにしたい。

すまい困りごと無料相談

●電話または直接面接会場にお越しください
☎080-5297-8956 (長谷川)
面接相談会日・会場
6月17日(土) グルッポふじとう小会議室
7月22日(土) グルッポふじとう会議室A
(いずれも13:30~15:30)
○当会会員の一级建築士が相談に応じます。

ハート・ほっと・ルーム

開催日・会場
6月25日(日) 養楽福祉会たかもり
7月23日(日) 養楽福祉会たかもり
=春日井市高森台5-6-6
(いずれも13:30~17:00)
参加費; 無料
連絡先; ☎090-6330-4393(浪川)

最後の「つくる会」総会

高森山を生物多様性や自然学習会の場に活用

本体の「高蔵寺どんぐりs」と一本化するため最後の部会総会となる、「魅力ある高森山公園をつくる会」の第6期総会が3月18日、東部ほっとステーションで開催された。

冒頭、2022年度の活動について采女副部長から高森山周辺の整備活動のほか自然観察会や希少動植物の保護活動等の説明があった。同年度決算について稲熊会計担当から説明があり、会計処理が適正であった旨が太田監事から報告

私の朝・昼・晩

「ミツバチ達の民主主義」

多くの草木が花を咲かせる春がやって来た。私が住居（巣箱）を提供している野生のニホンミツバチも待っていたに違いない。昨年初夏には暑さで巣の一部が落下してしまった。夏にはスズメバチの執拗な攻撃にあった。秋には家賃支払いを蜂蜜でしてくれた。寒さ厳しい冬は巣箱の中で群が1つの球になって暖をとり、蜜を食い繋いで耐えた。

春には「分蜂」と呼ぶ大仕事がある。巣を娘女王に譲って、母女王の群が新居に引っ越すのだ。新居を探すのも働き蜂の仕事で、四方に手分けして優良物件を探しに行く。

そんな事を書いている途中、友人の巣箱で分蜂が始まったと連絡が入り現場に急行した。どの巣箱に入居するか、巣を出た半球状の群の中で協議のダンス（写真）が続いている。まるで民主主義のお手本のような生活をミツバチ達が垣間見せてくれた。（山口 正恵）



された。

2023年度の活動方針について山口副部長から、予算案を石田新会計担当より説明。新年度も行政との協力のもと、現在500種を超える動植物の生息が確認された高森山が環境省のOECM（生物多様性に資する地域）に選定されるように努める。また、市環境保全課の自然環境学習会の場に高森山公園が選定されるなど新たな活動が加わった。本体と合同する目的や、今後の組織運営、役員構成については、堀内部長が説明した。

部会設置の経緯から、これまでの5年間は独立部会として別会計で運営してきたが、効率化のため新年度から部会の規約や会計を廃止して「NPO法人高蔵寺どんぐりs」に一本化する。したがって「つくる会」の部会員は「どんぐりs」の会員と兼任となる。運営委員は「どんぐりs」の理事と兼務となる。その他、会費の半減や役員の負担軽減の説明があった。以上の全議案が全会一致で承認された。（山口 正恵）

新理事のひと言

●作本 あゆみ

地域の皆様に愛される緑溢れる高森山を目指し、里山整備を頑張りたい、と思います。

●奥村 優子

一年の季節の移ろいを、動植物との出会いを、楽しく学ばせて頂いております。

●加藤 善夫

木目って素晴らしい。木を削ると木目が浮き出してくる。同じ木目は表れない。気に入った木目は思い入れがあり、手渡しする時、「可愛がってやってください。」と言ってしまふ。今頃どんな使われ方してるのかな・・・・・・？ 思い出すのも、又楽しい。

●眞埜 豊

自然を壊す土木技術者生活が40数年、今は自然を愛するボランティアの毎日です。

●近藤 左千夫

1. 森づくりは 人づくりを目指し、高森山の手入れ活動で年2回ほど体験実習の募集。2.高森山のグラウンドの活用をかんがえる。